KeiVerK 公式リリース素材

WorkDeck Shifter ご利用ガイド

ファイル・Web・メモをひとつの作業場へ。目的ごとのWorkDeckを切り替えるWindows作業ハブ。

バージョン: 6.9.2 · 発行日: 2026/10/10

もくじ

1. WDS-01: はじめに：作業をひとつのWorkDeckへ
2. WDS-02: File：資料を探して開く
3. WDS-03: Web：調べものと資料を並べる
4. WDS-04: Memo：思いつきを書き留める
5. WDS-05: Document：案内文や資料をまとめる（Pro）
6. WDS-06: Sticky／Task：公開までの作業を整理する（Pro）
7. WDS-07: Dashboard：今日の作業を見渡す（Pro）
8. WDS-08: QuickSwitch：必要な作業へすぐ移動
9. WDS-09: Settings：見た目・保存・ライセンスを確認

WDS-01

はじめに：作業をひとつのWorkDeckへ

WorkDeckは作業のまとまり、Paneは表示枠、Tabはファイル・Web・メモなどの内容です。最大4枠に並べて作業できます。



1. **展開して起動**

   配布ZIPをフォルダへ展開し、WorkDeckShifter.exeを起動します。Windows 10/11（64bit）とWeb表示用のMicrosoft Edge WebView2 Runtimeが必要です。EXEだけを取り出さず、同梱ファイルを一緒に置いてください。

2. **作業場を作る**

   WorkDeck一覧の＋から作業場を作成します。WorkDeckボタンの右クリックから名前変更・複製・並べ替え・削除を行えます。

3. **内容を並べる**

   各Paneの＋からTabを追加します。Layoutで配置を切り替え、資料・Web・メモを見比べます。

ポイント・注意点:

- 画面は撮影専用のサンプルデータです。表示密度はCompactです。
- Free：MultiPane / MultiTab / WorkDeck / File / Web / QuickSwitch / StateSave / Memo。
- 初回起動から14日間はPro体験。Document・Sticky／Task・Reminder・DashboardはPro機能です。体験期限後もデータは削除されません。

WDS-02

File：資料を探して開く

フォルダ内のファイルをWorkDeck内で確認し、作業に使う資料へすぐ移れます。



1. **Fileタブを追加**

   Paneの＋からFileを追加し、表示したいフォルダを指定します。

2. **表示を切り替える**

   詳細・一覧・サムネイル表示を使い分け、列見出しで並べ替えます。

3. **ファイルを開く**

   ファイルをダブルクリックして開きます。右クリックメニューから操作を選択できます。削除や移動の対象は実ファイルなので、実行前に対象を確認してください。

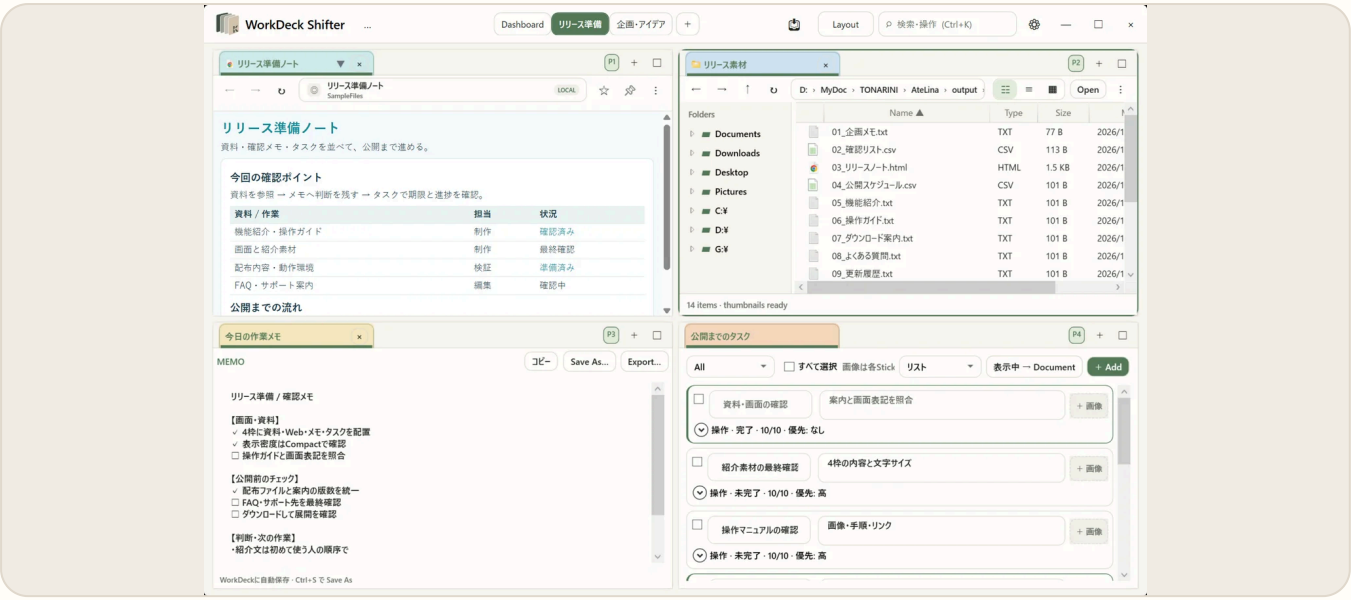
ポイント・注意点:

- 画面は撮影専用のサンプルデータです。表示密度はCompactです。
- FileはFreeで継続利用できます。

WDS-03

Web：調べものと資料を並べる

Webページやローカル HTML を Tab で開き、ほかの資料やメモと並べて利用します。



1. **Webタブを追加**

   Paneの＋からWebを追加し、アドレス欄へURLを入力します。ローカルHTMLも開けます。

2. **移動・再読込・検索**

   戻る・進む・再読込を利用します。F5で再読込、Ctrl+Fでページ内検索を開きます。

3. **ログイン区分を分ける**

   必要に応じてSettingsのWeb Profilesでログイン区分を管理します。外部サービスの認証・利用条件は各サービスに従います。

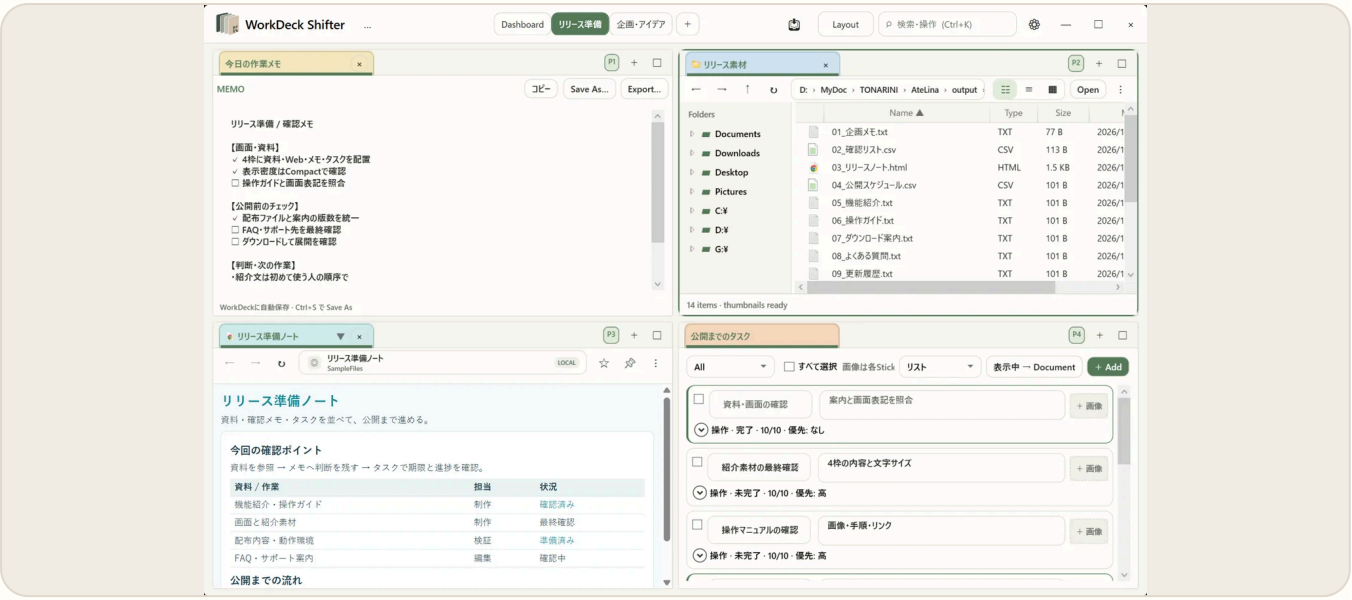
ポイント・注意点:

- 画面は撮影専用のサンプルデータです。表示密度はCompactです。
- 撮影には通信不要のローカルHTMLを使用しています。
- WebはFree。Cookie等はPC内のWebView2プロファイルに保存されます。

WDS-04

Memo：思いつきを書き留める

作業の隣にメモを置き、確認事項やアイデアを残します。



1. **Memoを追加**

   Paneの＋からMemoを追加します。

2. **本文を編集**

   確認事項やアイデアを本文へ入力します。Tab名を分かりやすく付けると検索しやすくなります。

3. **続きから再開**

   別のWorkDeckへ切り替えてもメモを保持します。次回起動時も保存済みの作業状態から再開できます。

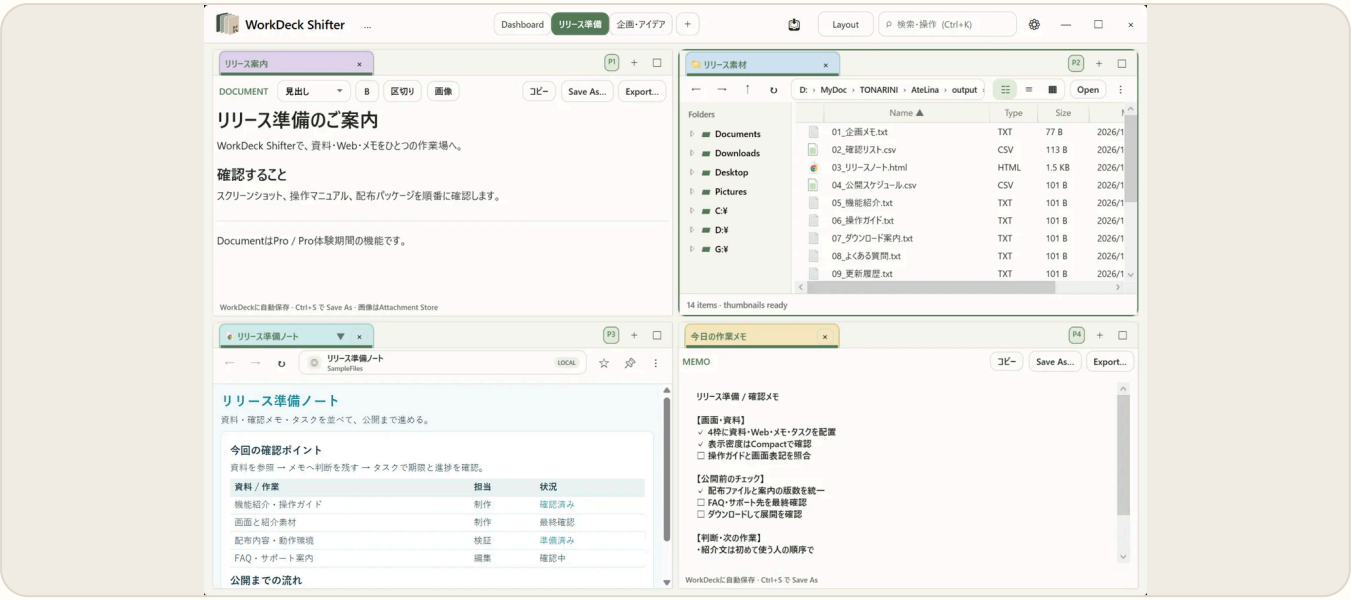
ポイント・注意点:

- 画面は撮影専用のサンプルデータです。表示密度はCompactです。
- MemoはFreeで継続利用できます。

WDS-05

Document：案内文や資料をまとめる（Pro）

見出し・本文・画像・区切りを組み合わせて文書を作成し、HTML・PDF・TXTへ書き出せます。



1. **Documentを追加**

   ProまたはPro体験期間中に、Paneの＋からDocumentを追加します。

2. **ブロックで編集**

   見出し・本文・画像・区切りを追加し、文書の順序を整えます。

3. **書き出して共有**

   書き出しメニューからHTML・PDF・TXTを選び、保存先を指定します。出力を開いて内容を確認してください。

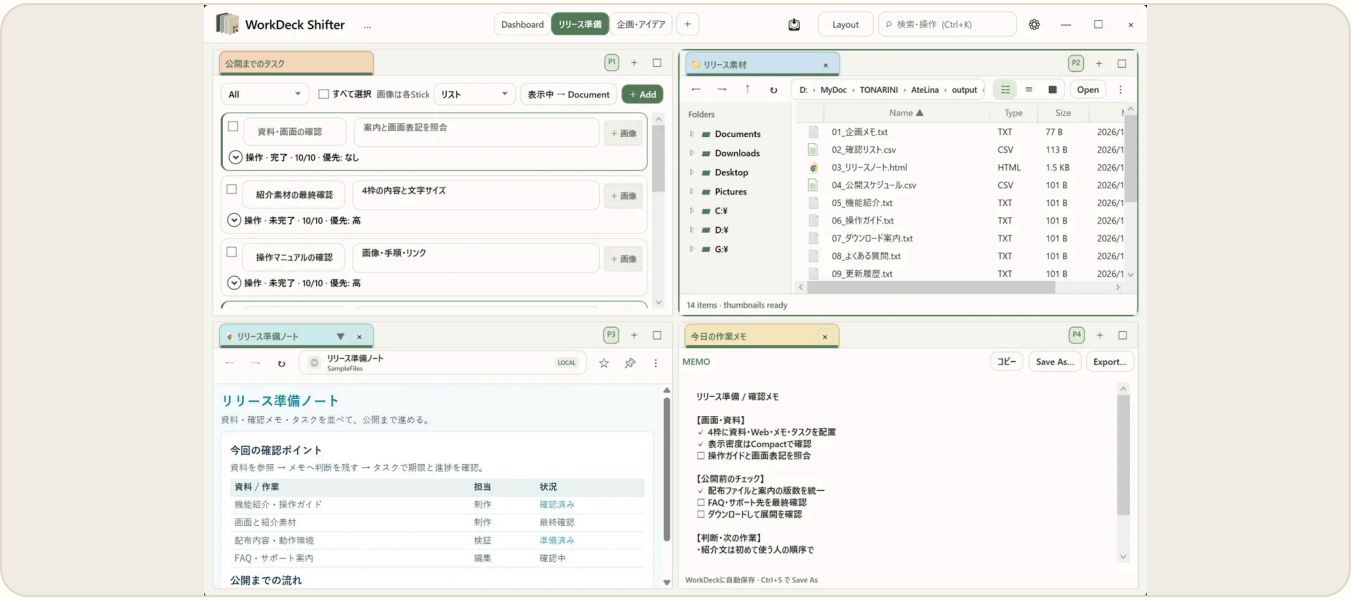
ポイント・注意点:

- 画面は撮影専用のサンプルデータです。表示密度はCompactです。
- DocumentはPro / Pro体験期間の機能です。

WDS-06

Sticky／Task：公開までの作業を整理する（Pro）

付箋とタスクを並べ、期限や優先度、完了状態を整理します。



1. **Stickyボードを追加**

   ProまたはPro体験期間中にStickyのTabを追加します。

2. **付箋・タスクを作る**

   付箋へメモを入力します。タスクとして管理する項目には期限や優先度を設定します。

3. **完了と通知を管理**

   終わった項目を完了にします。Reminderを設定した場合はWDSを起動した状態で通知を利用します。Windows側の通知設定も確認してください。

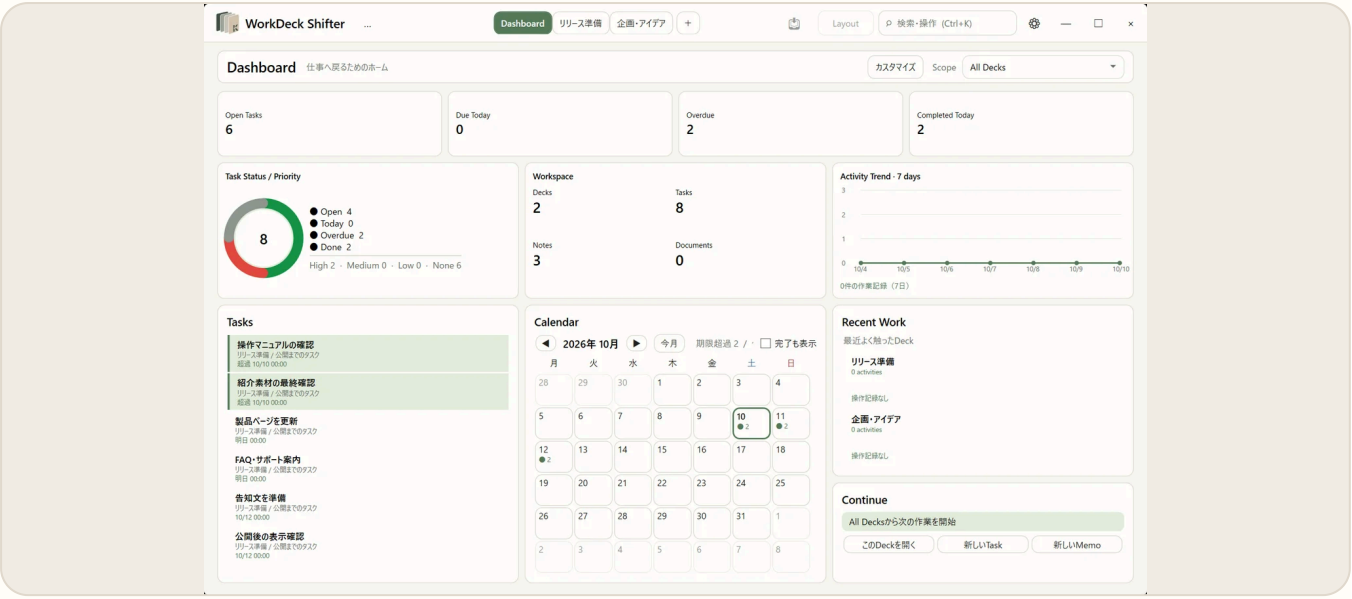
ポイント・注意点:

- 画面は撮影専用のサンプルデータです。表示密度はCompactです。
- Sticky／Task・ReminderはPro / Pro体験期間の機能です。

WDS-07

Dashboard：今日の作業を見渡す（Pro）

タスク・カレンダー・最近の作業を集約し、次に進める仕事と続きの作業を確認します。



1. **Dashboardを開く**

   ProまたはPro体験期間中に、上部のDashboardをクリックします。

2. **状況を確認**

   タスクの集計と期限カレンダーを確認します。表示範囲を作業場単位へ絞ることもできます。

3. **作業へ戻る**

   最近の作業やタスクから、対応するWorkDeck・Tabへ戻ります。

ポイント・注意点:

- 画面は撮影専用のサンプルデータです。表示密度はCompactです。
- DashboardはPro / Pro体験期間の機能です。

WDS-08

QuickSwitch：必要な作業へすぐ移動

Ctrl+Kで検索・操作を開き、WorkDeckやTab、メモなどを探して移動できます。



1. **検索・操作を開く**

   Ctrl+Kを押すか、上部の検索・操作ボタンをクリックします。

2. **言葉で絞り込む**

   WorkDeck名やTab名、本文の言葉を入力して候補を絞ります。

3. **候補へ移動**

   候補を選びEnterで移動します。Escで閉じます。

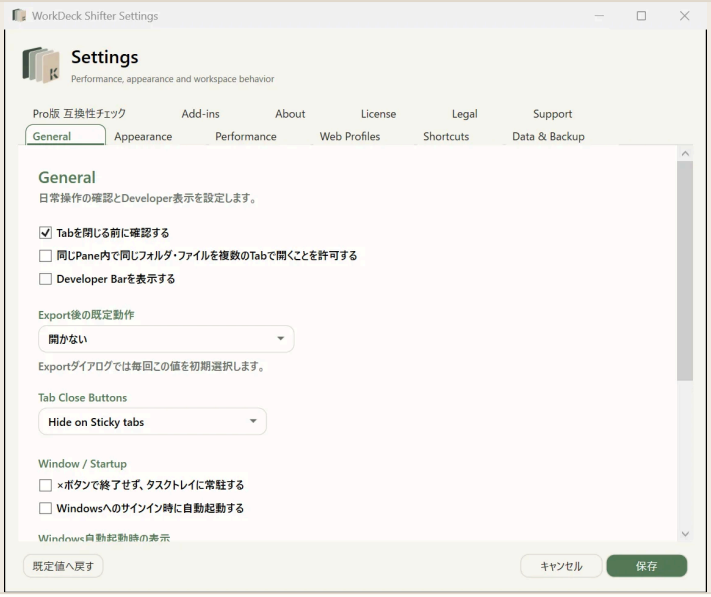
ポイント・注意点:

- 画面は撮影専用のサンプルデータです。表示密度はCompactです。
- QuickSwitchはFree。ショートカットはSettingsで変更できます。

WDS-09

Settings：見た目・保存・ライセンスを確認

表示や起動動作を整え、バックアップとライセンス情報を確認します。



1. **Settingsを開く**

   上部のSettingsをクリックし、見た目・ショートカット・起動動作などを設定します。表示密度はComfortable・Compact・Denseから選べます。4枠を使う場合はCompactから試してください。

2. **バックアップを用意**

   Backup設定で保存先や頻度、保持件数を確認します。重要な作業の前はバックアップを作成してください。削除・復元は対象を確認して実行します。

3. **ライセンスを確認**

   License欄でPro体験の期限や現在の状態を確認します。Pro購入後は案内された署名済みライセンスJSONをActivateで適用します。

4. **再起動・引継ぎ**

   配布フォルダを更新してもユーザーデータはPC内に保持されます。体験期限後はFree機能を利用でき、Proデータは保持されます。Proの操作を再開するにはProライセンスが必要です。

ポイント・注意点:

- 画面は撮影専用のサンプルデータです。表示密度はCompactです。
- 通常のデータ保存先：%LOCALAPPDATA%¥KeiVerK¥WorkDeckShifter。Profileごとに作業状態を分離します。
- β版です。配布物のREADME・利用条件・プライバシー説明も確認してください。